

古代 サムラッチ ツーロック 取替錠 取付説明書

このたびはNAGASAWA商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
商品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。

梱包内容一覧

表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

記号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
姿図																	
名称	本体(おもて)	本体(裏)	飾りプレート	補強板付 TU-60錠	ガードフロント	フロント板 標準	フロント板 取替用	アスカ連結バー	本体固定ねじ	連結パイプ	本体(下) 固定ねじ	錠固定ねじ	フロント板 固定ねじ	本体(下) 固定ねじ	本体(下) 固定ねじ	かぎ	
個数	1セット	1セット	2枚	1セット	1枚	1枚	1枚	1個	2本	1本	2本	2本	2本	1本	1本	5本	

1: 切欠きの確認

現行の金物を取り外し、切欠きの確認をしてください。

追加加工が必要な場合、右「切欠き図」を参考に、扉に加工してください。

※ 下部下穴加工(Φ10mm)は、既存切欠きにより対応してください。

○ ねじ止め可能時下穴不要 直接ねじ固定にて対応

△ 既存切欠き干渉時 Φ10mm穴加工にて⑩連結パイプ⑭⑮ねじ使用

2: 錠の取付

既存切欠きに④TU-60錠をセットし、⑫錠固定ねじで取付けてください。

※錠セット時に、ラッチの向きを確認し、開き勝手に合わせてください。

扉の戸先形状に合わせ⑤ガードフロントまたは、⑦取替用フロント板をセットし、

⑬フロント板固定ねじで固定してください。

3: 飾りプレート・サムラッチ本体の取付

②本体(裏)に、⑧アスカ連結バーは右図Aの様に取付けてあります。ご注意ください。

本体下部切欠き加工を施したときは右図Bの様に⑩連結パイプを①本体(おもて)に取付けてください。

既存の切欠き穴を隠すため、③飾りプレートと①本体(おもて)を取付けます。

※③飾りプレートがずれて取付けづらい時は、テープで仮止めをするとらくです。

(ドア材に影響のない事を必ずお確かめください。)

※④補強板付TU-60錠の連結パイプ穴2ヶ所とカム穴に、本体裏側から出ているパイプ2本と角芯が入っていることを確かめながら取付けます。

②本体(裏)も③飾りプレートをセットしながら取付けます。

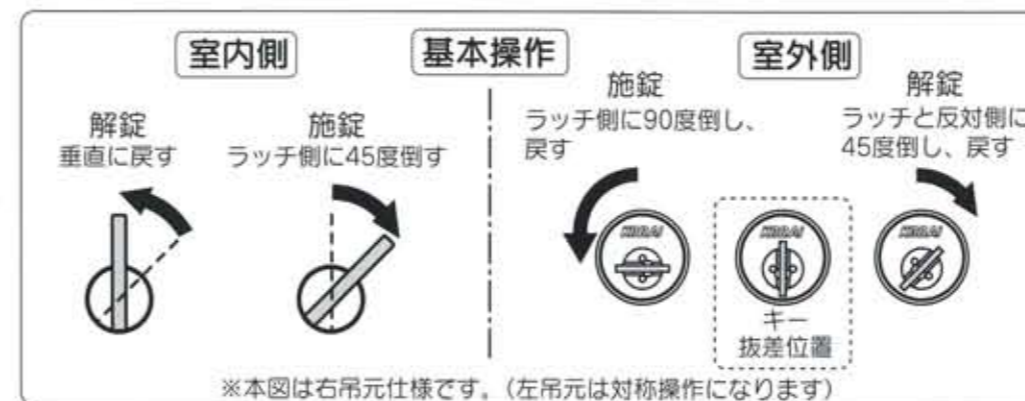
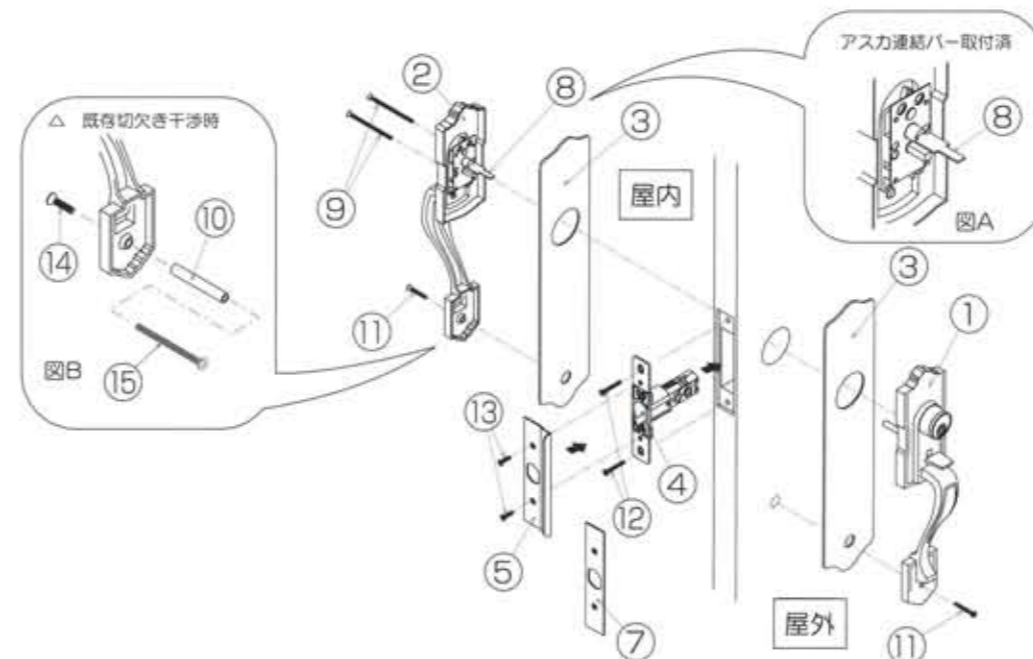
⑨本体固定ねじで本体上部を、⑪本体(下)固定ねじで本体下部をしっかりと取付けます。

4: 確認

サムラッチ作動にて錠ラッチボルトがスムーズに作動することを確認してください。

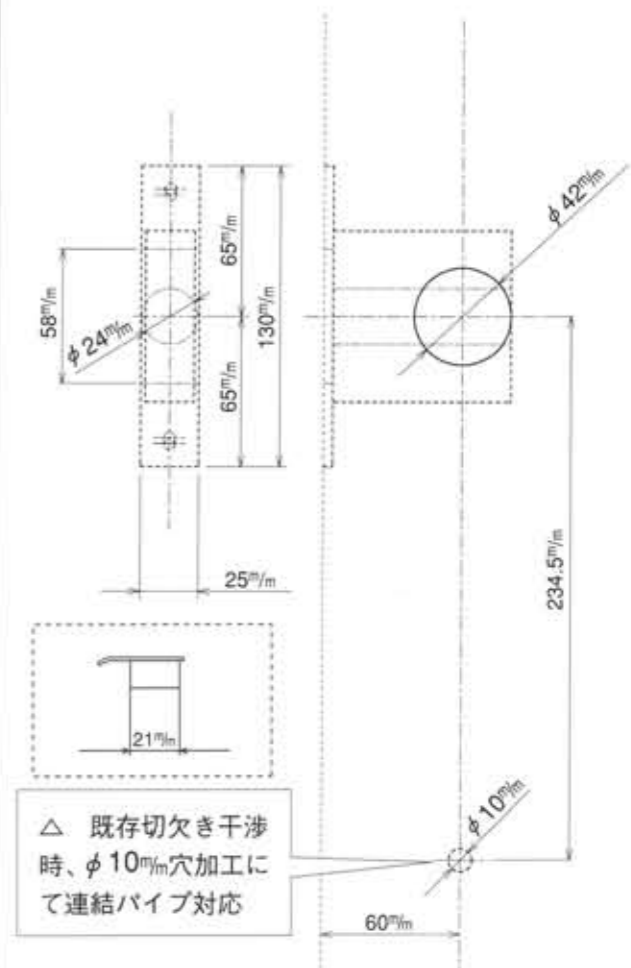
キー操作にて錠ラッチボルトが固定(押しでも戻らない)することを確認してください。

③飾りプレートの仮止め用テープ使用時は取り除いてください。



※本図は右吊元仕様です。(左吊元は対称操作になります)

参考切欠き図



NAGASAWA

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811(代)
FAX. 03-5967-3103

福岡出張所 TEL. 092-524-7031(代)
FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091(代)
FAX. 06-6783-5092